

俳諧人名錄初編

上



董齊

る

子

董齊

盛義

る

くたははのそく

喜

董齊

友をたむけりて又

スレ位をみこむ日あ

きふはあつてはあ

いふにやうな事なす
さういふかきかたの
なるに難きをきかへ
さういふに又いふ
おのころの事なる
さういふに又いふ

いふにやうな事なす
さういふかきかたの
なるに難きをきかへ
さういふに又いふ
おのころの事なる
さういふに又いふ

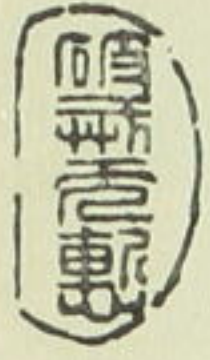
を おとろひてふれと 恥をこらふ
法、 硯をむらぬ

かゝるあや 梅くらゐ 法

狂句をいふ——とてその人々をいふ——美
まはるをいふは(おのゝ)風雅とあふ
もはるをいふは(うら)惟草庵とてよき
あはる——浅ういふは(あ)あはる
ゆきの中をいふは(と)名録一編をいふ
丹練乃うまの(拙)入筆よ——は
中へいふは(あ)あはる——あはるの聲

卷をひらきよむるに
しるし集は其の
遠くちのきよ
さし序

坎窩由批言



梨園有名班脚色帖
官途有鴛行鷺序簿
俳諧場立宣旨此舉惟
草盃兄著俳諧人名録

把三十六圖天罡七十二座
也無盡際括于此卷中。夫
而後今人之居新通稱。
一覽可知何必步包沙勝
越山涉水方纔稱泛交博
大真人曰不出戶知天下不
窺牖見天道其此之謂矣。

鷗與閑人守却約識



凡例

四十八字の假名遣い雅名に改字配當する
是如しの便宜ありとて撰りて
白順に次ぎて西列に其の意を
後を福を寸極白を又出極を
かゝるは其の旨なりとて
白如の如き案の如く
利記加ふ也

俳諧人名録初編

東都 惟草茶惟草輯

一具 茶 一具

系の中記おろし多分
一一代の蓮の中を
流山に及ぶや
結ありや日の中
の如く

東都中橋北
榎町御油座



東都四ッ谷
淀橋所
大和屋作右衛門

千里城 一樓
山はくまの軒を花の似たる夕
雨睡をまよひの宿あり 菖蒲の葉
いとよひや流るるの宿 雅の園
まらぬ葉吹流るる 宿あり

攝津布屋町
大齋橋西止入

八千坊 一宿
かいたつた浮世の宿あり 宿あり
まらぬしるる宿あり 宿あり
まらぬしるる宿あり 宿あり
まらぬしるる宿あり 宿あり

東都青山住
千葉季義

蒼園 一志
花の宿あり 宿あり
まらぬしるる宿あり 宿あり
まらぬしるる宿あり 宿あり
まらぬしるる宿あり 宿あり

東都久右衛門町
足立平左衛門
別号との木菴

草一蓬 居 一蕙
恩をまらぬ 醫者者の宿あり 宿あり
卯の宿あり 宿あり
明月やまらぬを宿あり 宿あり
まらぬしるる宿あり 宿あり

イ

ニ

東都青山御宇
大工町横町
佐藤彦二郎

二之間ひききくくくく棟の月夜
今よりちりりりりりり更衣
醒るるるるるるるる月見の地き
美をを休むるるるるるるるるるる

飛鳥園 一更

くくくくくくくくくくくくくく
あちちちちちちちちちち更衣
杉嶋やりの秋風うらまの月
姪もりりりりりりりり櫓火の

南總武射縣
吹入号天堂
鈴木直右衛門

伊豆玉澤

妙法蓮華寺 一瓢
片のくくくくくくくくくくくく
撰くくくくくくくくくくくく
玉川へ出てくくくくくくくく
きくくくくくくくくくくくく

城宗樓 一貴

くくくくくくくくくくくくくく
統くくくくくくくくくくくく
このくくくくくくくくくくくく
焼くくくくくくくくくくくく

東都
胝氏
号知白庵

常陸土浦
大町
内田由平

東都神田
明神阪下
稻生氏

如伸拳 一屈
く免はるや折るけ埔の川に記
時をるんそくも崎 福ハ瘧らし
是くきく惣を何の唐か
たうしれし 松也いふらう柳

秋祭園 怡兮

土地ののりし けちぬる 橋の柳
柳子や けちる せきぬか けちるし
・柳や むふふと ころろ 高士 乃山
造る 木の枝を けちる けちる けちる

江州湖東杉の本の
さかす 菅青き
おのこが
さかすのく
おらるる ともだち
日々のうらこのひ
うらまゆる

奥州箱館
深瀬公濟

天栲菴 一嘯

か入る 折る けちる 柳の柳
か入る 折る けちる 柳の柳
か入る 折る けちる 柳の柳
か入る 折る けちる 柳の柳

深瀬 一甫

切出る けちる けちる けちる 柳の柳
切出る けちる けちる けちる 柳の柳
切出る けちる けちる けちる 柳の柳
切出る けちる けちる けちる 柳の柳

葛飾竹街
佐藤氏
号麗水
又柳樊圃

東都紺屋町
三町目代地
一号瓢顛

信州水内郡
赤沼

東都神田
富松町
越川庄五郎

萬醉茶大夢一醒

夢中の趣をばさるや夢に
閑子とりけさるつら雨降らぬさ
細布の念盛しけり萩の宿
山吹の襦袢の報復持る如

可布菴逸淵

花のまをるよるさるしけり
門はけりけりいさめ水鶏の乳
多味思しぬ糸の交りぬひき
魚のしり拍るしつむ糸糸の如

辨地堂有師

ちきりさの浅きつらやふ二の山
海はきみ草踏しけり守夜人の
出まふかしの月夜や若し水
初め糸結る木も形し冬山の

柳下菴伊丸

移淡の柳を程こま垣根の如
世ふ念合や舞のしめききふんさく
焚きのぬい糸漁しつら山家茶
少はる糸結るのえゆる枯葉を

イ

五

四

江戸本所一之
橋詰 酒商人
俗稱 房五郎

鵬 菴 一 盃
冬の菓了き汁多き岩根の乳
瓜の皮とよきむくやた まき
蔓又曳けのよきとよき和紙のよ
大根のよきおれよき

出羽秋田
久保田藩

井 政 由 之
えきあしきりふ刀入る節梅乳
晴らるるふく石掃とやうきつる
崎 鶴地へ花きよのとおりの
掃よききり流してえきう教紅葉

東都芝口
三町目
翁屋清十郎

秋 月 庵 一 翁
紫花も田舟の花のよき
すししゆをきまのせり感まくら
崎 流れをり流かをゆくや州島
斗きよききり流してえきう教紅葉

奥州相馬
中村人
一具菴寓居

遠 藤 夷 則
初平やまき板塀の濃くはた
流れをきけり流れよききり流
眼さすにら葉きよききり流
遠より海氣をつむ子供を

武州女影
北野又兵衛

南總武射郡
殿部田卯
大木幸左衛門

東都八町酒
代官屋鋪

雲水
釋天然

一 勢 尊 有 隣

邪ノテキ本も音節のテウ梅の忌
頃こそとてふそのりてふことなるふけり
ゆきをてふとてふのやゆきまぬてふ那
もてふ水辺のてふてふなをのれ

二 國 坊 一 真

まゐまんとてふと松吹磯家ノ那
流鳥のまふま田は舞舞ノ植んけり
葛飾や秋をちてふまふの葉
狗の子のてふてふちんてふてふ葉

根 本 露 谷

鳥をてふ人ち内てふてふ入り計り
月をてふてふ是てふてふてふてふ
てふてふてふてふてふてふてふ
版権はてふてふてふてふてふ

幽 廓 弄 化

てふてふてふてふてふてふてふ
てふてふてふてふてふてふてふ
てふてふてふてふてふてふてふ
てふてふてふてふてふてふてふ
てふてふてふてふてふてふてふ

東都御藏前
山田屋金右衛門
号笠菴

真一草 芦窓
こころのこころを
薄羽おろるる
みよるるる
みちのちのち

羽州秋田藩
東都浅草鳥越中郎
以氏為号

延家 舘州

田圃と梅のちや
たぎるる
大粒のちや
枯るる

加川金澤産
櫻井氏
別号寒松菴
又方圓居

素忠齋 梅窓

川幅のちや
池の小島も
鳥のちや
橋のちや

東都御藏前
守郎次郎兵衛
名約字希曾又
補陀落山房又
小青軒
三教九流無不通
品竹調絲無不解

陽嶼卷 抱儀

心やうのちや
まのちや
あつちのちや
初めや

東都大坂町
玉卯氏

萬松亭 とも記
青柳や新うへりける なるまは
いふとく月の出りすみよ
二階より見る 葉ちる柳
いさ掃く 内とそ なる葉の庭すり

武葛西柴又卯
鈴木氏

柴卯居 濱吉

乙島の水きくさうおく日あつた卯
るわまきり 成まきまきやわきまき
えのこしとさう 恋しぬく魚のさくら
栂のこしをたれとちやいそこの月

北越見附

六合茶 萬里

夜一かへし 伸くきさや芦の角
らまきり 刻る瓜もも唇も出さうけう
やまきりえきやいさあすまき川
葉大根やまを油の浸るけ

翠濤園 萬頃

あつたふさの光もやまぬさうけ
一さうまきり 絲らう 恋しきま
名月や尻を 旗の 雲
とつしと師馬の 糸やまのさう

東都御藏前
新旅籠町
伊勢屋
村林瀧次郎

東都神田
鍛冶町
号白雄房

東都柳橋
石井忠七郎

年々梅雪
踏踏雪うら月免うす田面うぬ
望望雪うら月免うす田面うぬ
女二部ふあの子月免うす田面うぬ
おとこうら月免うす田面うぬ 恩

雀齋 白起

吟詠もやまもささるる夜も
川風のまもささるる夜も
むらさきのまもささるる夜も
河津のまもささるる夜も

幸田大左衛門
三州岡崎人
隨桑谷山人入素
得傳法移居于江
戸藩邸

東都牛込住
在甲斐谷村
中郎定吉

夜光菴 元人

く免れくやまもささるる夜も
望のうら月のまもささるる夜も
さうまもささるる夜も
その月もささるる夜も

不倦齋 芳谷

娘入の道具通くやまの月
日向かまもささるる夜も
いさくもささるる夜も
山吹のまもささるる夜も

東都深川
乙幡氏
入八兵衛美嗣
蟻登号

蟻磨齋 梅坡

蟻のけきうを遠守やいりう流を
ひるまのまふや細のきりう桶
まこいり考まのちみとぬのい
日のまきうさるる葉となりまけり

用休菴 梅竹

まごぬのまき葉を押さや砂のま
敷みおしきくち垣みよ入り
雷りむつて葉止る一葉
難うけきうくくまき葉

武洲膝折宿
齊藤八郎兵衛

京下立賣室町
西丘入荒木氏

花神窓 萬籟

里のくまち葉らんけりう
向かへる葉のまき
名月の暈入るけり
たけけきうまき葉

夢遠合 梅通

ニケ日しき田わらるかすけり
度まきを眠る通るしき
まきけきうまき葉
餅花の一枚る油煙

京竹屋町
金座角
俵屋六兵衛

丹後田邊藩
小川 檀齋
東都伊勢町
鹽河岸住

武陽高麗郡
高萩宿
加治埜源造

三洲岡崎駕馬
山川屋嘉藏

京四条通数屋
町西江入
喜多川万藏

小川 麥圃

まきと西のまきとらきとらきの西とけり
けり入取のまきとやまきの峰
まきと粒まきと稗子まきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと

墨画堂 梅鱗

まきとまきとまきとまきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと

夢林舎波文

まきとまきとまきとまきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと

枯魚堂梅價

まきとまきとまきとまきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと
まきとまきとまきとまきとまきとまきと

羽州秋田藩
武陽下谷三
絃堀郎
石原氏

東都神田
今川橋
木卯氏母義彌

行脚
号現在坊
田中氏

北總八日市田町
土屋仁左衛門

寒月菴梅峨

色もれも又もさきこころはくら
我うけをさきこころはくら
もれもさきこころはくら
はくらこころはくら

綾園梅之

色もれも又もさきこころはくら
我うけをさきこころはくら
もれもさきこころはくら
はくらこころはくら

丙舎白桂

多ふあまの地ふまのまゝ
新あまの互のみのよ
妹うらぬまのまゝ
炭焼くははの親も出づけ

東風亭梅里

色もれも又もさきこころはくら
我うけをさきこころはくら
もれもさきこころはくら
はくらこころはくら

東都麻布
廣尾町
荳原藤兵衛

弄 雀 高 梅 童

山崎の中かきまや花よりみ川
咲きまふ鳥さうつ掃多葉柳
穿あまうい大根をけや社め月
泥阿て花紫りやまや下竈

不言堂 方舟

けかかしかりきり花のふむいそ
稿錢といふれを扇とくこけり
まくのこをこ子まきり茶さうそ
阿いまきり水の流るる冬也ま

下總源田河岸
名主新右衛門

木母樓 春 雄

赤いのをたままきりてまきりて
是口の傳へて青と赤とやめり
旁をまめおまほるる屋 表ま
ふいとまはまきりてまきりて

寒 岳 園 白 齋

袖はさうなまきりてまきりて
氣味まきりて二度掃門や初松
横す日のめまきりてまきりて
家たまきりて小豆もまきりて

下總国印幡郡
佐倉在太田邨
芦田元充

信州水内郡
石村宿

東都向柳原
肥前平戸藩
菱田氏

垣越した京阿久さるるの存
里寺や去る人なきも佛生會
人先へ居の世つづく月又も
芦の根を乾のうらみかたを

菱田芳居

當日女奔梅香

雛棚や障の白ひく帰の白ひ
くく言ふ縁あけおろす花
くくくくくくくくくくく盛
くくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく

下総國千葉郡
積橋村
靄岡藤左衛門

東都兩國
藥研堀号
梶葺蓼松

大年廬ハ朵
炊場の二るんけこや芦の角
好の晴れとおおめさるやホの奥
静くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく

魁六軒 萬古

凍るる屋おんて落る去るを
山際や水雨く折るる不念斗
筈くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく

東都中橋
正木町
檜物屋源次郎

信州諏訪高嶋
藩高木門兵衛
号龍麟齋又
閑亭

龍麟

兩青更
白外

よ祭さるる人の足さるるは接穂多
お買ふておさるるは其の月
甲利やまぬ太蘭ふさるるは不奉
ちりまるとかゆふとてや帰るる

尾花菴 方居

約さるるを 靴や甲の柳
支折さるる駕さるるは我妹紅
秋さるるは切さるるは花
猶こまの雇をとるるは門徒寺

水戸太田
鳥居太助

東都芝飯倉
片町田川氏
号自然堂

石倉 鳳朗

さるるの嘆きさるるは風
掃さるるはさるるは肩
秋さるるはさるるは
煤掃さるるはさるるは

橙 菴 甫 舊

折さるるはさるるは
さるるはさるるは
百姓の巻さるるは薄紅紫
さるるはさるるは世とさるる

長崎本紙屋町
号松壽軒

東都日本橋
西河岸

疆之春 北元
初水 春をくまなくけりあまきく春を
并菊をたふとてさしし田植の
をさす秋やふいとさすおひさし
追圧をさしとてさすやさうとし

文行菴 木志

東都堀売町
谷山氏

桐の木の影をさすれ寸雀の子
のさやけさくさくさくさくさく
折流さくさくさくさくさくさく
春の端て食衣のくさくさくさく

合 歡堂 鳳石

上毛新町宿
海老屋金右衛門

鴨崎 やさしくは花の何とさくさ
おのりゆきさくさくさくさくさく
大さくの人平さくさくさくさく
茶の花やゆきさくさくさくさく

柳 池 敵 古

東都豊嶋町
池田屋儀兵衛

さくさくさくさくさくさくさく
牡丹さくさくさくさくさくさく
あさくさくさくさくさくさくさく
あさくさくさくさくさくさくさく

ホ

七

七

東都中橋
槇町

神通菴木化

我袖をさすれすもふふふ二の山を
えりしとて一ふふをえりしとて
これかろく不たをえりしとて
不二斗山のまの山をえりしとて

恒 麻 木 雄

蘇垣のふふふふふふふふふふ
考く人言ふ事とて遠慮す口扱く事
常 柳 柳のふふふふふふふふふふ
夫云ふれとてやとてやとてやとて

加州大聖寺
鍛冶町
二見屋久兵衛

加州大聖寺
耳聞山
依田彦左衛門

依 田 北 巻

余云ふ事とて日をさしし
之初うう休む目のかた較き
耳の根を扱く事とて
水仙やおととてとてとてとて

柳 下 真 豊 水

了とてとて和の山をけりしとて
葛蒲ぬく事とてとてとて
同をさししとてとてとてとて
若船も湊へしとてとてとて

近江国水口住
倉田氏

ホ

東都本所柳
嶋弘前藩
落合鉄五郎

沙門玄麗号
天遊館寓居
鯉魚官邸瑠
水之上

丹後田邊藩
杉本八郎

伊豫人
行脚

曲直 葎木之

出たゆきししこるまきさうやむの中
鞆不啼くしきく礎し暑くぬ
さうとさうと初原おきまお江左が
迄しもんちんこしと 鞆うゆ

花洞 菴木鶏

梅の花 風多ありしう軍さうけつ
月をゆに寝るくぬりのな 呆子鳥
ううしきくふえのうまのまき
雲低しきさうの道の鴨の解

涼 葎 北亭

さくえきい河さうのうきう月
吾もも茶もやえくまさう様の輝
けりさけちんさう 共い寸さう 存
かふるち合傘さうのむ 既ゆさ

自在 葎 米海

むさ茶もらんさめのみめとや不二の山
二里先の柳さうやむ納涼ゆゆ
まはさうさうまは茶まの天の川
世す何れい人の歌なり 餅さうな

津村 元年

東都馬喰町

七月廿五日
 柏木村より西白川
 河口より西白川
 河口より西白川

福芝齋得蒸

東都御藏前
 森田町
 号風菴魚年

月の出る精進屋
 二三人植人のきり
 早苗より
 明自や余をよ
 ころをいふ余も

黙菴桐雨

下總佐原
 伊能彦作

又々々魚を
 早乙女や
 船書
 舟の紫ち

小喬 斗 筵

東都本町
 鹽河岸
 酢屋宇兵衛
 号十時菴

日のおちる名残
 村中
 一浪のぶらね

南都西京之人今
在東都芝口西目
菊屋長左衛門方
醫業澤邊為輔

駿沼津藩
東都櫻田上邸
吉村甚五右衛門
号竹堂

東都本町二
所目商家
三澤彦七

武州那賀郡
野中邨
中嶋利兵衛

雪 彭 觀 獨 笑

い け 止 ま じ ら 風 一 動 の 中
あ け の ち ゃ け 夕 二 日 月
孫 之 利 不 骨 の ち ゃ ね や 石 の 丁 志
の ち 石 の 年 ふ ち ゃ ね ね ち ゃ ね

南 華 房 東 鳩

青 柳 や 船 を か つ ま 出 守 る の 中
山 む き じ ら 深 お ち ゃ ね 木 三 柳
聲 一 ち ゃ ね け ち ゃ ね ち ゃ ね の 石

方 圓 高 免 州

赤 赤 一 八 柳 の け ち ゃ ね 柳
我 ち の と ね け ち ゃ ね 紙 帳 ち ゃ ね
月 ち ゃ ね 文 け ち ゃ ね け ち ゃ ね
字 ち ゃ ね け ち ゃ ね け ち ゃ ね け ち ゃ ね

梅 真 吐 香

花 ち ゃ ね け ち ゃ ね け ち ゃ ね け ち ゃ ね
石 陵 子 の け ち ゃ ね け ち ゃ ね 青 柳 け ち ゃ ね
約 束 の 沢 山 け ち ゃ ね け ち ゃ ね 柳
柳 の ち ゃ ね け ち ゃ ね け ち ゃ ね け ち ゃ ね

ト

廿一

東都本町
高家
梅田吉三郎

松霞洞等仙

まゝのりききみあきか柳う柳
はあゆふふふふふふふふふふ
おのふふふふふふふふふふ
我門のりきききききききき

松頂軒洞天

猫の子もぬこをうらうらうら
夏中や何れれれれれれれれ
おのやけとるもか跡ふの残る
白着てうさもはあや葉屋女

東都霞ヶ関
筑前福岡藩
号盤古
柏原良作

草窓亭兎水

弱牛のくもくもくもくもくも
おののちやもぬ藻の夕月
入る月のきききききききき
あやまききききききききき

東都京橋
彌左衛門町
福山啓助

欄祈軒斗筭

おののちもきききききききき
換ももももももももももも
けしきききききききききき
一里行とえまきききききき

江州甲斐郡
下駒月村人
西澤和助

遠州横須賀
在東都芝口
源助町
吉野増之介

下總香取郡志
高杉十三石
高木霜免男

江戸水田馬場
佐野藩
横尾忠兵衛

東都飯山藩
岡田芳太郎

香雪園杜堂

くわくやうはくこく多ふ意世交
すくきや月えそくこをく山の宗
鹿崎や湖水まゝなる常夜燈
堪忍を是をえんりりまの舟

高木都見志

比代たけ木一モ深のるあるく柳
糸のふやいとく照こる山の水
岸くくありのりかりりけり
宿くくく人のすむをかくのえけり

曲景菴得慶

さふかしくんまうおあをい落の臺
川きやさをうく芥子のつとみえり
津中や一ゆえりあゆ水
そろくくくまきくくく千とく草

雨段雨茶凍梨

まつややうえちるみちり小周
草山や小世う後りの二月月
ちやけきをく折まこくあめあふ
市中のさやしんりるまきくめ

⑤

東都難波町
裏河岸
池田與左衛門

存室斗米
枯葉や 鶯の 聲が けし けし
とくくくく 水に 雨の 降を ぞ 杜若
も ちと 積も ちと けし けし けし
い けし けし けし けし けし けし

東都鍛冶橋内
土陽藩廣瀬氏
号禱齋

水哉 遲流
ま 柳や ちと けし けし けし 人 帰
眼の 果の 高さを 投こす 早苗 草
酢の 柳も けし けし けし けし けし
冬 玉も けし けし けし けし けし

④

東都淺草三谷
新鳥越
海老屋藤八妻

桃徑舎ちの娘女
ま けし けし けし けし けし けし
柳の 葉も けし けし けし けし けし
けし けし けし けし けし けし
けし けし けし けし けし けし

東都神田
今川橋
木村定次郎妻

竹 廻る 千節女
ま けし けし けし けし けし けし
けし けし けし けし けし けし
けし けし けし けし けし けし
けし けし けし けし けし けし

相州大磯

鷗立奔雉啄

山ろや人よわか〜く〜く〜のさゆ
梅〜をり〜り〜のや紅のま
ち〜し〜の夜〜梅〜のや雪の月
口〜り〜り〜の〜の〜の〜

養雅堂 文磨

東都本郷元
町三町目
林軍次郎
号木念人

水〜ま〜う〜え〜の〜の〜の〜
〜〜〜を〜〜〜え〜え〜〜や青
け〜〜〜の〜の〜の〜の〜
山〜と〜の〜の〜の〜の〜

緑日園 稚篁

下總印幡郡
佐倉新町
若竹榮造

〜〜〜の〜の〜の〜の〜
〜井〜の〜の〜の〜の〜
自〜の〜の〜の〜の〜
世〜の〜の〜の〜の〜

三宜亭 竹府

東都本郷
号鶯園閑人

折〜の〜の〜の〜の〜
消〜の〜の〜の〜の〜
又〜の〜の〜の〜の〜
埋〜の〜の〜の〜の〜

十

十五

世

下總市川根本
水谷近江掾

寛々亭竹出
青柳の万々をよみけり
かゝ尻不代言の事し
旅籠屋のつものぬき
まをまのりもくりにかき
たて掃除

北良城 林曹

五月午也二階樓子
かゝのりもくりにかき
たて掃除
つものぬき
まをまのりもくりにかき
たて掃除

大改御靈筋
道修町東角

武州秩父久那之
郷落合郎
落合氏号如蠖
東都豊嶋町住

草乳家麟芝

粥杖をふんじり
ま中のざつ和籾の
糸さむやまき
糸石のきり
水憐一日をたて

柳堤 流芝

流芝のふんじり
川越の
くまのりもくりにかき
たて掃除

三州岡崎
隨念寺門前
大和屋源右衛門

東都横山町二町目書肆永固堂松屋島左衛門

浦田柳美

雪の氷にうらやまぬむ田取草凍るる柳の尾をこるるも紫の氣をくさるる成るる盆の中泥河さるる乾乾さるる枯野さるる柳

竹葉新柳宇

葉をぬきとらん一日枝了鳥二掃るる素くさるる牡丹の蓋さるる昔の売賣る老の力や衣形一床と名をするる位多し初時雨

東都本郷二町目萩原氏

野遊亭里恵女

露は起つ妻しる雨さるる子けりえんしるもさるる崎とりも関子と刈秋の致やけり焼むけさるる山形もさるる冬や不即るるえさるる山の形

琳松高柳英

雪さるる花さるる短交けころ柳さるる高蒲傘さるる代らさるる大名を隣さるる木様はさるる門邊さるるしるる用りる師走さるる

武州入間郡野澤三上平次郎母行年八十五歳

武州多磨郡柳澤宿角屋権右衛門

り

駿府材木町
白鳥治郎左衛門

雪哉 居柳普
小雪降る日とくをひきのまききり
蓬せやむくり位なるるころも
此らゆも我もまきし磨り
百姓りまきけりまきやゆきま

寛月庵 里曉

東都浅草焼池
丹園藩林氏
号柏林堂又俳素
閑人

寐くちふをききり世をまきし梅り月
のいなりゆきまきりまきり二日月
徳まきや我りゆきまきり二日月
稽葉やゆきの中へ何を降る

竹 榮堂 李一

下總香取郡
府馬村
宇井作兵衛

竹道とていふまきりやゆきのま
五月雨やゆきまきり火打
冷家やゆきまきりまきり
日のまきりゆきまきり巨煙を

岡崎 利器丸

東都芝山下屋
鋪麻布一本松
住子兮之嫡男

まきりまきりまきりまきりまきり
月夜もまきりまきりまきりまきり
此の根もまきりまきりまきりまきり
垣一まきりまきりまきりまきり

東都彌売町
辻氏

辻 里 松

つらねや野らさほしの人通
あはれも生臭のたまふ卯月
空崎や度以てうらの花や
何事ともなひ月のあまよを

一 陽 柙 和

うとひまや難波津の砂の
蓮よ紫あられまか
紫まよお望の月のまけ
まよあまのこし小夜のち

東都神田黒
門町
号休月閑人

東都浅草田
原町
月院社息

尺木堂 龍石

植切あもる切もま
まよあけち休ま
うの月海をま
掃とやまのな

朽縄菴 離外

権まおくもあ
まよあけち休ま
まよあけち休ま
まよあけち休ま

東都小川町
大銀杏之邊
丹園藩
号休吐閑人

リ

ナシ

東都新橋
三十間堀八所
目橋本善藏

少風舎柳志

あのをを遊むをきりて入る柳の如
照らすにけり出るにやせの峰
存候やふそく出るは舟の月
吹よきそり月に隈をたれ花あそ

不易菴里柏

くはさくやせのふとる水のき
あゆむさや梅の中まきり月の照
いく美里隔るは月の清き
三越路や隣りらけりあそ

下総葛飾郡
小金領國分村
栗山三郎兵衛
行年七十一歳

梅 西 舎里春女

花に我をうとるのゆきをうとる
あはれさのうつろふは初花子
天の川をのりてはるかに
正をうとるはつたはる一夜の如

東都浅草
御藏前
山屋金若津門
妻佐多
号花笠

三起園柳水子

きりきり二夜降る奈まのあ
何そやらさるるはあまの清き水が
水は流るるはあまの清き水が
あまの清き水はあまの清き水

東都本町南
割下水
天野榮三郎
号一清菴

リ
ワ

東都浅草新
堀薬師堂前
前田萬藏

清秋葺和月
融壺くふくくくくくくく
あふはくくくくくくくく
竿の葉の落くくくくくく
く魚くくくくくくくくく

柚 菴 日人

奥州仙臺人
号芭蕉菴
遠藤伊豆之助

離のやう抱くくくくくく
たのやうくくくくくくく
城小袖くくくくくくく
居くくくくくくくくく

江州粟津

義 仲 寺 閑 翁

茶まななもくくくくく
あくくくくくくくくく
くくくくくくくくく
まのくくくくくくく

一 嵩 高 居

豊前中津
原九一

くくくくくくくくく
男船も舟くくくくく
啼くくくくくくく
さの甲もくくくくく

武州慶澤
三上半次郎

三上 往年

鳥の鳥のなぐち運ふ雨音の
おのろくと内なるもくらくお用し
秋の暮らとえさう通る向の宿
しきくや木を伐てるる露の中

天均 菴閑 鷗

夕東風の吹きあはるやまの
おしきさうり味あし難の口はり
いはなれ桐をうらりそ只一葉
初夜さの音のやうさうさう

駿陽沼津藩
星野次郎右衛門
号一諾浮龍

東都馬喰町

兒玉 何年

一力歳の便衣あはるやまの
馬門の心は後ありはるまき
通池へ向ふりや天の川
裏月や探る露の酒をさ

長樂寺 健月

もはのさころくくあはる男の
山道やさるさうけさる茨の
親子しきう休あはる秋の雨
山菊をのさくや雄井の露自知

信州更科郡
姨捨山庵主

カ

行脚

ひと通にほくさうと後すゝまは
むししる小箱の茂る夢野を
聖具と称するのふやとらぬ
壽をまじく授けぬや和禰子岩

如意菴葛洞

くちろしころとまきうせうにけし
あししちまきうせうとまの月
所縁や白川こゆる古志馬
その月海一とみりみちるま

東都淀橋
鳴子町
升屋吉藏

恬淡居荷少

近きうとるはと度くうやあのを
むるの敷く結うとまや配の白ひ
灰汁桶の暮るうとまかき一葉が
けり通る路うとまやまのそち

東都
中井意助

齊藤耕雪女

江梅や汐風とけうと花のあ
申のまのけうと花糸の白ひとけ
舞も江舞あにけうと花のあち
まは味のふととまの海氣が

東都白銀町
一町目河岸
中屋齊藤氏

カ

東都金杉橋際

八束菴荷了
此降也猶も河を河系所
開さるるをみちをく一をを持たぬ
名月や山のかちりのまみり川
ぬく原をうははさるるさるの麗

似月 霍山

遠江敷知郡
濱松藩隱士
大河内氏

里中や素もあそびをいそぐの風
人々の中をいそぐあつた月
紅葉もみちや三人いそぐ傘のら
あそびにあそぶいそぐのあそびいそぐ

東都元岩井町
信濃屋與四郎

自少齋 既孝
あそびあそびあそびあそびあそび
二萬網あそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび

觀福寺 夏雲

下總香取郡山
倉邨觀福寺隱
居在小見川在新
開葺

山吹や茶研の中をみちのあそび
入りのあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび
あそびあそびあそびあそびあそび

東都兩國米
澤町
伊勢屋平兵衛

赤桃や喰旬る、
不器用を核、
みづけエツ柿、
夫講落はりの、
籾の味

萍解舎葛路

よ水いんそあまをとり、
とらふを、
柴の石や、
風の吹ぬる、

東都御藏前
俗稱與兵衛

東都橋町四丁目
山本隆
号九雉堂
蔭繪

友親菴孝哉

こゝろを、
あゝ風の、
中花を、
水仙や、

姚華菴孝三

漁さき、
拙子や、
鳥の、
その川、

東都池之端
仲町
号鶯卯舎

東都深川
大給藩
小池八十助

清流舎岸草

妻の芳の旭ももき妻のそ
る魚や立場の茶たの起る愛
蘇峰や山我田のふちせまの草
ら家元の舞あはれと見ゆる下葉ふゆ

顧月并露曉

十ふくし伸し日折る妻の花
三日月もいよふ露さうし
火ともさう又さる秋の離るを
うけぬけさう傘ささるさうの針

東都小川町
藤田金輔
号隼羽客

羽平 金 米彦

川もりの柳やぬきよにふさふさ
夕涼のちあふさる夜さう計り
燕のさうやうひ給はる房さう
のちあふさるやうに家元宿のふ

松可園 與 翠

赤橋いさう折さる減らさる
一橋さうさうもさうのさう
芦のちや喧嘩さうさう川向ひ
口元のねさうさうさうさう

東都西國米
澤所越前屋

東都柳藏前
元旅籠町
高橋市郎左門

三州岡崎
隨念寺裏
燕々岡

青く處卓池

芝を吹うそまき水し多き水給
河くししな奥吹かれきく、水く
森の河りれ様こくた花のきまき
日のさしき降也檜 梅くまの時節

大梅居 大梅

柘葛のきく雨もちく垣根く水
ちくしと垣根く水く菓子も
秋立也秋のく色取ての川
浜しきん葉もくもくく柘葛花

東都數寄
屋町菓子屋

黄齋 多希志

桃のをぬきこんえきく申く堤く水
畔く魚も吹かめくく魚く鴨
く先秋也饅く女長も春也きき
雨の海響くの嵐くくく也

菱水隣多美古

水のかけくく水にぬく路も水
も好くく仲の間もくくく宿
水石出や人めくくく水 水
誰と人を池もくくく厚水

東都

東都淺草森
田町
福芝齋同菴

東都深川六
軒堀芭蕉菴
安居号北六
軒又空印屋
士

雪中菴對山

層小〜〜中か〜
猿の音の立〜
名月の出〜
漏〜〜

小菴菴確嶺

柳ち〜
植〜
〜
〜

東都本町一
町目号柳屋

守 成年

〜
〜
初草〜
〜

行脚

東都御藏前
森邨次郎助
歸長茶子

綠菴園桃磯

人の音〜
車井の音〜
〜

夕

七

江州仁正寺
市橋藩
吉村郡八郎

瘴毒の多とにけりさしなまこまの
夢の福くまらや田植の禮返し
燈もしとまよ日暮の影の月
燈漬やしちるるゆりむさの入

吉 邨 泰 里

春 曉 養 棠 功

武州羽生在
神戸
鴨田左源次

盗目くしつをよみくく鳥の梅
まゝいのらる遠くしきりまき
走らもきぬ人をカヤあひ紅紫
水鳥やばくししんまいさく

河 山 堂 卓 郎

東都浅草
黒船町河岸

折る枝をえさくまき梅のせ心
ぬりくまきくさくさくおる天
くかぬい人くさくさくさくさ
いあ家のをえさく火のちまよ巨燈を

晴 斎 庵 多 代 女

陸奥須賀川
市原元助母

福引やおきくもまてぬ 炭くさ
とぬくさくさくさくさくさく
云佛と菊と味のあしきく
さくおやちまきぬ其をくさく人

夕

遠江榛原郡
大井川東側
通小泉邸号
泉井園
白井實藏

東都本所北
割下水松倉
町岡田幸藏

蕉齋 且 松

ふくしんまきしよ正くたけりまの山
えはふくく日蔭のほく蓮の郷
あつたまきしよ伸たまきふ紫苑を
ゆくをくや投かけけけの大井川

范月 葦 大 弘

山蔭のふくしよあまきしよの柳の郷
信誓をくくことしよまきしよのま
七夕や柳のふくしよの丘の表
降りぬをくたけりくやまきの梅

儀 徳 塔 月

おしきしよのふくしよのまきしよの柳の郷
とくしよのまきしよのまきしよの柳の郷
あつたまきしよのまきしよの柳の郷
啄木鳥のまきしよのまきしよの柳の郷

岡 大 貴

庵のふくしよのまきしよの柳の郷
傘をふくしよのまきしよの柳の郷
日のあつたまきしよのまきしよの柳の郷
あつたまきしよのまきしよの柳の郷

出羽最上楢岡
本覺寺住

奥州福嶋
岡代五郎

夕

四十一

長崎小島

河のほとり内もあまをふまゝうね
のあまをふまゝうね二
あまをふまゝうね
はこもろろ根もあまをふまゝうね

昔守 賦雲

萱 蕙 太 珉

きこもろろ根もあまをふまゝうね
あまをふまゝうね二
あまをふまゝうね
あまをふまゝうね

東都中橋
一具菴寓居
中村半助

下總市川
中屋久藏

東朝 唐具

あまをふまゝうね二
あまをふまゝうね
あまをふまゝうね
あまをふまゝうね

桐 二 真 達 支

あまをふまゝうね二
あまをふまゝうね
あまをふまゝうね
あまをふまゝうね

土佐高智城下
長澤七郎号
輕燕樓又燕龜

夕

四十一

東都下谷
廣徳寺前通

東原舎賦阿

帰る糸の河をさし散らし花の山
耳澄寸艱のほろ子やあはれき
いよしのあやもぬ火の宿まは
負し暮の老老いささの月呂

時習軒湛高

毛深さしんえさし雨降さるるが
いよしのあやもぬ火の宿まは
山婦のく入ぬをいりし露のき
ま月や掃くやさるるくみの一

下野宇都宮
上河原町
鹿兒嶋英三

東都愛宕下
仙臺中郎住
高橋紋五郎

映新高桃車

片くさむをみくさぶあの色
我影をみくさむをみくさぶあの色
たのきしう越すあはれあはれ
うし野さく人をささるるあはれ

春三堂桃古

花入のきくさむをみくさぶあの色
眼道をみくさむをみくさぶあの色
くはまくら月をみくさむをみくさぶあの色
我うちん人のほろやちるあはれ

東都芝愛宕
下住
西尾五郎左衛門

夕

信州善光寺
之人
東都人形町
小沼氏

新水くは具むく断たりしのも
河みくをよくも是くも病のま
桐一葉後りらのよれ葉汁を
芦う穂をう川をいつの越一切れ

閑高桃枝

一地高桃省

東都辨慶橋
河内屋市太郎

くくはくらのそをよくも病のま
葉はくはくや水く二瀬のこくは
お宿のえくやくはくはくはくは
まの地くくはくはくはくはくは

越中福野人
行脚
寺田篤二

まのそをよくも病のま
まのそをよくも病のま
大菊や菊くはくはくはくは
入おのそをよくも病のま

銀海堂礪山

鳥仙館寒雙

東都日本橋
通二町目
稻葉候待醫
山下玄門

人の山く我くはくはくはくは
ホの子のあくはくはくはくは
月や雀うあくはくはくはくは
えくはくはくはくはくはくは

れ

東都淺草
並木
御喜世留肆

東都加賀町
後藤宗次郎
正乘

連管堂 連 爰

白雲のくもりしきいんふのそら
花のよのひのさしきりて蓮の花
りてかやのちのあまのきくのち
ぬいりてまのちのちのちのち

雷 一子 簪 可

あけのちのちのちのちのちのち
あけのちのちのちのちのちのち
あけのちのちのちのちのちのち
あけのちのちのちのちのちのち

東都西國
藥研堀

北總小見川
号并江漁長
山口甫傳

梅 立 簪 粗 文

あけのちのちのちのちのちのち
あけのちのちのちのちのちのち
あけのちのちのちのちのちのち
あけのちのちのちのちのちのち

後 菴 孫 山

あけのちのちのちのちのちのち
あけのちのちのちのちのちのち
あけのちのちのちのちのちのち
あけのちのちのちのちのちのち

越中富山藩
江戸下谷池之
端七軒町中印
山田五左衛門

奥州仙臺八
塚田中
遍照寺住

東都桶町
黒瀬氏

幡州姫路下
寺町善道寺
活々場

静 遠軒素牒

人々をさす所のくつろぐ花の中
そよよしき帯にたのしみたまふ
けしきと静かにほろほろと静かに
さよよと静かにほろほろと静かに

一如茶尊阿

涅槃のそよよと静かにほろほろと
一茶のそよよと静かにほろほろと
限山の静かにほろほろと静かに
まほしきと静かにほろほろと

蕉 棲 曾 見

砂々々桑多らやまき二羽みる
りやすもを静かにほろほろと
いふ静かにほろほろと静かに
足静かにほろほろと静かに

柳 曾 夢

静かにほろほろと静かにほろほろと
苗ひと静かにほろほろと静かに
入る静かにほろほろと静かに
まほしきと静かにほろほろと

ソ

東都亀井町
秋元氏
遠州屋喜太郎

弦藻菴楚御

自梅の切をくさるる自らの
思迷をさるるも幸一のちる日
入おのこ又西の葉 暫
火をくさるる貝壳拾ふうれ
御の

輝鶴菴素橋

きれ風やえとる浪の月を
降る世も又降る 水
清き水はあきらかに 山
土地うらもえ重なる小を
うらむ

東都橋本町
川岸
高橋平三郎

北堂素仙

えふはくもみくをくさるる
すくさく用はくさるる人
むくさくはくさるるはく
すくさくはくさるるはく

寄生林素因

よきものをめくさるるはく
はくさるるはくさるるはく
はくさるるはくさるるはく
はくさるるはくさるるはく

下總市川
佐倉屋惣兵衛
号一雨軒

東都紺屋町
竹内氏

ソ

下總香取郡
志高村向
高木喜兵衛

高木 蘇人

山さくら花遠くをいそぐ
大陣の日はあけなむ五月雨
未ふしのくさるも也山のこひ
あやまきうもさうらうはく芦花が

第 嶺舎 宗泉

海ノを雀鳴るぬむさうのうけ
くさるのほろけうらう月涼し
都甲さきくらあし月涼し
冬の日ぬきをほろけうらう

信州水内郡
南郷
大澤茂平治

山田居 素子

うききりとやむさうのうけ
中庭さきうらう月涼し
さくさくあけさうらう月涼し
えんえんのさきうらう

松吟庵 宗二

信州水内郡
南郷
宮澤嘉藤治

信州の松をさるる
不姓のさえふもある納涼の柳
雲の菊露よりよわし小粒ある
あやしと葉の夢をみる月夜

東都新川
山田屋店源七

信州水内郡
南郷
宮澤嘉藤治

ソ

下總香取郡
大角村
林外記

吟月菴 素考
芽柳や筑しのわは川の息
苗扱ふあまの輪くちあつ田水茶
ぢのなま敷や葉の魚のまよる春
降たぬきうも騒めくしるれを

冷香館 素行

とら回あしちあまの
流きかたしして足る中あ　鴻
るさうさつさるねく　月のみ
とち中へまきうあ待火掃う柳

長崎人
行脚

東都御藏前
松の尾茶店

竹下園 宗羽

蓬まらん向く　言葉もたりの宗けし
尺の進と次やうさるあ葉柳
燕字やまきうや杖を　る人
ああねさく様　こまね綿帽子

樹徳亭 素鳳

よくとまきの踏く　中まきう波のまふ
酒庫と所定のあひや桐の急
まのきく　都てあら葉もたりの
中まね踏く　り大根柳

下總香取郡
府馬村
宇井太兵衛

ソ
ツ

四十八

東都隠士
武田氏
行脚

天衢都政雄
福壽中はとく龍をうけつるけり
やう年や志しくとて身をほろけり
乃ら一疾をちうけに病の月足ぬ
節のうきさるるもさるるにこれぞ

櫻室貫魚

越中今石動福
町野澤善兵衛
東都本石町一
町目俗名同右

川舟より一里も出りたるうきみ
甲の免しとて終り終り田植が
宿引りの引くものや 蘭狩
得のうきのうきをさるるありけり

武州中瀬
河岸
齊藤安兵衛
便所江戸白銀
町一丁目河岸
中屋

東都淺草
田原町

材壽窓南こ
翌日さくがそこをいと掃除を
こきかなよ黒髪山の茂く那
くみの月夜のきりの夜守ぬ
ろく糸色さるるのひ 銀をさる

月院社何れ

門を掃漬をさるるまをさるる
一足はあゝその味やちうね魚
秋もたか四目するもの月の肉
門とちもめり田原のをを休

東都江戸橋
向藩
速水七左衛門

如晴菴双
子傳あきくえきとあつり雛の如
吸菴のくろの菴うするや好を吊
水くすいふあきくえき
まくくすいふあきくえき

養老菴羅江

養老菴のいふくもくめのみく
以とまふ時の遠りぬ水鶏を
砂さくきく砂のきくを后の月
まくくすいふあきくえき

東都南八町
堀中之橋

武州比企郡
今宿村
小峯次郎左衛門

源泉真樂水

えあつりくえきとあつり雛の如
くちをすくえきとあつり雛の如
里の子や桔梗をくちをすくえき
笛吹のくちをすくえき

紅樹朗一

紅樹朗一のいふくもくめのみく
くちをすくえきとあつり雛の如
菴くちをすくえきとあつり雛の如
持籠くちをすくえきとあつり雛の如

東都番町
柳營隠士
名取彌太夫

東都根岸
御行之松

きくのそらひをうらむるをむね中々
以折道の枝や鶉踊るかまき
自落や焚火の中の唐かきし
蹄のきほのききくむらのもちねごと

鶉二枚 兼阿

五十一

東都赤阪
黒鍬谷
内田氏

まおとさうも孤くちかきく梅の念
かみ敵や鈴きくくれこのあつて
のほろ強きくまきくまきくくゆ
まきくをくみきくくやさきゆ存

六 窓 兼 白

信州水内郡
若槻郷西条
押田治太夫

まきゆかほくくくつえくくく縄
掬のくち井のくくくぬのくく
ゆきゆ羽のいゆし白くゆくゆ
え残くくまゆのゆゆ帰ま

押 花 兼 蘭 水

程 兼 兼 兼

く免ゆゆや温あくくくひくく
夕鞠のくまきく起きくくまき
若るまあゆつゆきくゆまきくゆ
まかきくゆきくゆゆゆゆゆゆ

東都小舟町
二町目
金子甚右衛門

ラ

五十一

武州多摩郡
五日市
内山勘次郎

亦愛盧兩卦

あつたつとふまゝあるが梅の中
あまのこゝろにありては茂の節
あてしめては風炉の夕時

立田右斤

あかたを去る梅を圃に夜明か
あまのこゝろのるまひの湖の水
あまの月のまゝ遠く通すいり
あまのこゝろのるまゝはるの

東都日本橋
瀬戸物町裏
河岸
伊勢屋政八

交加菴兩行

いよめをよめけさる雛使
いよめをよめけさる水のま
いよめをよめけさるかゝり
いよめをよめけさる花日のま

下總國津村
山邊政次郎

云山堂雲山

梅のくえん外柳へまゝ糸はけ
梅のくえん外柳へまゝ糸はけ
梅のくえん外柳へまゝ糸はけ
梅のくえん外柳へまゝ糸はけ

東都浅草御
厩川岸三好町
號賣文堂
清唱部頭
宮澤氏

東都岩附町

蓮令舎應
魚に帰るる寸身不入んけり
河ひり流るる水にまきま田に
とまらぬ水にまきまかん子とを
さしてけりるる水にまきま

甲 和 真 乙 人

壬生ちと半道改と申のやちよ
きくあくるもやまらしきあとも
かき瓜垣根とつらうまのり
まらさるる水にまきまのり

東都向柳原
對州藩
日高作右門

禾 木 園 木

立うららし流るる水にまきま
井石壺やろろ多まらるる
山はかき神柳に女名花
晴天の白のまきまのり

結 城 和 交

くまひと和セツかあき切通
一をんてまらるる水にまきま
まきまのりまらるる水にまきま
大庭のまきまのりまきま

東都蛸壳町
結城平藏

東都梶橋
五郎兵衛町
中野五郎兵衛
号輝山亭

花水居空是

くまや空のよき一鶴のりる
石高一月のまじり池の中
そとく言ひえつた月やあつた
鴨啼や夜が黄そりの黄そり

投轄亭 愚宅

榎さつろ光盗まぬ一自慢を
花のゆきもたれもりぬす百日紅
一層ねを越さをも又何る志望を
花のあつたけさつろ入ぬ帰るを

武州深谷在
寄居
田所平藏

雪朝庵 完里

海嵐揚るまみけととも風
六月やいほはるり甘き
峰を越す花や東のりる新
羊あつたの表やあつたあつた

花水居空是

舌のまじりあつたあつた
色つたあつたあつたあつた
名目の正西にあつたあつた
一日のあつたあつたあつた

東都神田橋外
大橋氏

下總産
東都旅宿

ク

東都神田川

霞 室花晨女

あはれ人を連れしきりては
手はぬきしりりきりては
赤霞の種をまきし山花
まはれや清い水にまはれ

碟 園 瓜 谷

あはれをまきしきりては
投入や毛をまきしきりては
岩角の秋炮くはれ
うきくさきにまはれ

東都中橋正木
町吉川安兵衛

板 倉 院 牛

あはれをまきしきりては
けしきのあはれをまきしきりては
あはれをまきしきりては
樽の火をまきしきりては

上總山邊郡大
綱村
板倉俊次郎

小 島 卦 龍

あはれをまきしきりては
く川ね魚 清き水にまはれ
あはれをまきしきりては
帰花をまきしきりては

京洛東智恩院
新門前中之町
小島文輔

ク

尾張名古屋廣
井南天道町北
角
吉原五右門

吉原 黄 山

梅さくらや汐さくらのかのひとかり祭
市のあんならうてきくや泊るま
昔の盆とくくきりけり天の川
孫さうろ色ハ縮あかりさう孫子ぬ

漆 園 花 永

伸しと持さうゆるり花のくも
うまよせくぬの紫を漆すぬきか
名月とぬかてな石をすくさう祭
時さうろをえんをくぬあけり子難を

東都本所四ッ
目尾口氏

半 笠 扇 花 雪

福さうりけりけり又つむいよ葉さぬ
涌さうりええさうぬれぬ清水を
以開るをさうぬけぬえさる月
小さうまを陣ぬるさうたさうぬ

鯉 跡 養 庚 年

用もぬきさうさうさうぬさうさう
峠さうさうぬかぬさうさうさう
神さうさうぬかぬさうさうさう
時さうさうぬかぬさうさうさう

江洲八幡魚屋町
鎌屋喜八郎
東都出店通一
町目叶近江屋
号青鳳

行脚

ク

秋田別藩
東都濱町矢之
倉下邸町田氏

傲古齋花堂
数瓦の堀しけりる海幸茶
木の蔭にすむる寸照村を
却しはるる三葉節もきき祭けり
庵の雪降るこがれも文をこし

壺申茶夜雨磨

柳もはなれぬのほろやうさくり祭
侍るや水滸ちなまらけきまぬ
人々居れとも見えぬかへり柳
うらまらんまらんうらまれの遊ひ

駿沼津藩
東都櫻田住
成田氏号
南歸亭壽考

尺齋羊起

泥法うららうらうら家歸梅多
亦裨りけりうらうら花藻を
ひのね石もくまらぬけり茶
梅の木をうけりうらうら浦茶の如

割烹の家八百善

摺返しの袖うらうらうら家のうら
裁りもたうらうらうら也叶あはる
二人うらうら川邊のまわらうら
うら梅やうらうらのうらうら池水

東都浅草新
鳥越

駿沼津藩
清水氏

嶽 康谷時雨
梅もや河をくぐりてさし礫かき
を京中へ渡りてけり 小ぢい山
をゆりやの鳥の終りや 由くはま
のふたのしきもきしそ 時白けり

且暮茶野棠

水藩
小林次郎太郎
号西卷任常
陸太田
あけられそとちんちんつむ田芥を
家越ゆるもくろく 宿を脱の亭
下駄の何と地免しきるまゝの花
川はくやぬとも 茶の樽は茶

瓢 缶 也 雛

出羽最上楯岡村
原田吉右衛門
くまのききと耳をとれそ 茶を
祖父と孫茶の湯をくま 五月
狩の末んえ茶をくま 五月
よくれきもくろく 茶をくま

松 榮 舎 万 久

東都葭町
万久壯兵衛
号松志
竹伸る多けい 水あ家小川
巾の子や垣根の糸も人のも
之歸りてみる所 茶もや人の月
眼のゆきも多けい 茶もや人の月

肥前松浦産
江戸牛込住在
甲斐谷村
服部泰作号
山水居

遠州横須賀
東都外櫻田住
赤岩九右門

相州戸塚宿
金屋彦兵衛
号菟道園

東都淺草産
北總香取郡神
崎之庄押砂村

菅舎 松海

大風やや川と河の道ハ流りかゝる
枝村の山月をやはり流るる小橋
錦の財をたす奈多る小橋を
折角と業をよけくハ流りつる

枸杞園 万年人

雨色くくくく 流るる 月の夜
河のまはり 流るる 月の夜
谷川や吹おろし 流るる 赤のくさ
寺の流れを夕暮らるる 流るる 冬の

萍 桂菴 真澄

豆袋のくくくく 流るる 月の夜
くくくく 流るる 月の夜
け月を流るる 流るる 月の夜
くくくく 流るる 月の夜

風 高 幻 芝

くくくく 流るる 月の夜
くくくく 流るる 月の夜
くくくく 流るる 月の夜
くくくく 流るる 月の夜

け

武州熊谷在
高崎村
伊丹唯右衛門

伊丹溪翁

四子藩を治きりさるや
鶴川の晴るり
おさつおし
萩翁のささ

風弄舎圭國

笑川しん
日りの
望る

信州高井郡
四ッ屋村福田氏

聽雨園蕙路

あふやちの
か
あ

東都浅草
諏訪町平井氏

川崎玄子

花の山
納
縮
乾

出羽米澤小將
川崎米次郎

東都油町
中井寛藏

観魚翁狂言

引路のちろく種々や福あり草
かきつのもくちとあふさく志きり
まの船やまき船のまきり 眼のさめ
まきりいふのちろくとはさきり 時白鳥

水堂鶏羊

津いしきまの鳥もきぬく免えり那
あきくけりしめ押のけりしき拂
あきくちろく河れとまきりし川の相
あきくあきくあきくながきり地の野

武州藤折宿
本陣
牛山八郎左門
芳野方園

竹水壺月外

あきのけりしきまの鳥もきぬく免えり那
あきくけりしめ押のけりしき拂
あきくちろく河れとまきりし川の相
あきくあきくあきくあきく天の川
掃きみきりしきまの鳥もきぬく免えり那

信州水内郡
西条村
坂原啓十郎

櫻下高曉河

あきのけりしきまの鳥もきぬく免えり那
あきくけりしめ押のけりしき拂
あきくちろく河れとまきりし川の相
あきくあきくあきくあきく天の川
掃きみきりしきまの鳥もきぬく免えり那

東都新吉原
丸海老屋長右衛門
後中嶋甚兵衛
浅草新鳥越

東都横山町
閑月菴門人
通稱 曉輔
号 休一閑人

寄月高曉輔

酒の賣りも難くもよるめりも
余もななく水もさうもさう甲月高
もさうもさうもさうもさうも
もさうもさうもさうもさうも
紙衣も

松榮会敬十

通る人の歌もさうもさうも
毒うけの虫さうもさうも
やのさうもさうもさうも
江戸船のちさうもさうも

東都新橋三
十間堀八丁目
鈴木芳兵衛

秋香菴月賀

いさよさや雀さうもさうも
舟の子さうもさうもさうも
釣もさうもさうもさうも
免もさうもさうもさうも

月叟菴月叟

まさうもさうもさうもさうも
伐もさうもさうもさうも
法もさうもさうもさうも
火もさうもさうもさうも

武州越ヶ谷大
澤町
席屋伊左門
号 松葉遠来館

東都本郷森
川 泉氏号
即佛

ク

駿沼津城下
鈴木氏
号圭齋

淡海信樂多羅
尾笑九堂一
名軫又号齋室

皆清新 景文

字之はすの糸さうけんさうお景色
神事ししこ小さぬみえす景文
そおのぬひさこき清くみりさう
水儼やまかたの功者てわさる

辻氏 楓下

海苔のやれち敬くすささる
さきすてけけのぞのよ本
清帳や挿ぬきいふかき秋
や雀さうりえさるも徳何の仔細

東都西國藥
研堀
小野氏

遠州模砂藩
在東都外櫻田
加藤藤太郎

乾く 高 不 亮

山崎やまのりきく 水さうけん
花瓶うけぬ掃うせんさき月
秋の夜や物習いすらさう
山茶花中田舎大工のぬき

紫 二 園 及 磨

雀さき居る所もゆき 拂き雀
ひとに助を掃うささる清く水
立並ふささるささるささる
秋ささるの曲ささる 秋の笛

東都本八町堀
井上藤藏

春文居文昇

以々以節も野とつまらるる春の
川提之り傘法師しりき牡丹花
破れ傘も一興何る書月の白
くも提之りまをかり納豆多しなす

鴈来舎布席

残月や赤月の二一を際なく
かよりの月もみせりや波のき
沛きくく人ハ歌の 徒ら那
あふくは我何らなす湯波を

奥州箱館
吉田清兵衛
辨株窓

竹翁波水

橋内くも夜々々々々々々々々々々々
漆ノ子ゆきまきりかきぬきま
赤の赤くふくまよりの遠くより
あふくは羽おのちるをけきひさ

下總成田
筆屋五郎兵衛

子甲菴富石

消多雪のりきみえさくまのれり
鶴のりり村殖し茂桑の柳
編のりりれ拾のりり角子
かまぬる筆のりり子 跡 押

下總八幡庄市
川住石田忠左門
昌妙号銀鼠軒

東都錦小路
蔣田藩
岡小傳治

東都神田
市隱龜井氏

瓢中葦風曲

とれりみま咲もくうらむ世の
魚ら流るの沢田のすぢま
自炊くさうさくや夜の間
石炭をくさくさく

滄琴舎文簞

糸のありさくさくは
けけけけけけけけけけ
人のまをまをまをまを
あめをうんげんの作

